



(上) 朝日連峰を望む R348 のビューポイント

(下) 特産品の紅花と天蚕紬

司会 佐藤市長は、「仙山交流」も公約に掲げて力を入れておられますが、そうなりますと、今度は仙台市民に白鷹町の良いものを知っていただく機会も増えていくのではないのでしょうか。

佐藤(誠) 昔から仙台市民との交流はありましたが、東日本大震災のときに、物資として白鷹町の農産物を送らせていただいたところ、さらに交流が広まりました。

市長からありましたとおり、今の若い人の買い物動向を見ると、県庁の前からバスに乗って仙台市へ買い物に行くという方が多くおられます。このような状況からも、市長が公約に掲げている仙山交流というのはさらに進化していくものであると

思っておりますので、今後山形市には交通のインフラ整備についても期待させていたいただきたいと思っております。

佐藤(孝) 選挙の際に仙山交流を掲げたわけですが、実際に当選してすぐに仙台市の奥山市長のところへ伺って交流の提案をさせていただきました。奥山市長もこの提案には非常に前向きでありましたので、今後さらに関係を深め、現在の交通網をもっと「早く、太く、強く」することを追及していきたいと思えます。そして、山形市と仙台市の関係がより深まることで仙台市と白鷹町の関係を深めることにもなるかと思えますので、これから互いの関係をさらに太くしていければと思います。

教育・雇用・医療 みんなの安心を運ぶルート。

司会 そして、高等学校や専門学校、大学といった高等教育機関、あるいは雇用の場や就業地についても山形市内には多くあるため、白鷹町から山形市へ通勤・通学されている方も多いと思いますが、この通勤・通学面での交流というものについてはどうお考えでしょうか。

佐藤(誠) 国道348号が開通したという中で、平成22年度の数値では白鷹町から山形市に通勤している方が数が360名を超えております。

また、高等教育機関が山形市を中心に多くあるということで、80名近い生徒が山形市に毎日通学しているという数値も出ております。さらに、長井市など置賜の他の市町からも国道348号を利用して通勤・通学をしている方もいらつしやいます。これはやはり、国道348号の大きな影響があると思えます。

佐藤(孝) 通勤・通学で、白鷹町から山形市へ多くの方に来ていただいているということでしたけれども、まさに住む場所は白鷹町で働く場所は山形市、あるいはその逆の状況の中で、厳しい人口減少の波を乗り切っていけるのではないかと思つて

おります。特に、白鷹町に近い側に西部工業団地や産業団地があり、通勤という面では国道348号は大変便利だと思っておりますし、通勤される皆さんにとつて、より便利になれば良いと思っております。

また、山形大学をはじめ、その他の大学や高等学校が山形市内には多くありますが、山形市の教育機関に通っていたただけるということは、地元に残っていたただく一つの要素にもなっていると思えます。今、若い方が転出するきっかけはやはり進学が多いので、地元の学校へ進学し、またその先も地元に残ろうという気持ちを持つてもらえるような取り組みが必要だと感じております。

司会 雇用の面でも、教育の面でも、地元に残つてもらえる環境が整うということが大きいですね。

さらに、高度医療が提供される山形市へ白鷹町から受診に訪れる方も多いかと思えますが、佐藤町長いかがでしょうか。

佐藤(誠) 置賜の中核の病院となりますと置賜公立病院になります。大きな病院として、県立中央病院や山医医学部附属病院、市立病院済生館も含めて選択肢が広がり、大きな病気をされる方が安心して山形市へも行けるといった環境が整っている